



「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」提案を受けました！その①

JR東労組大宮地本は12月22日「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」の提案を受けました。一つ一つが大きな施策となっています。さらに【大宮運輸区廃案】などもあり職場では混乱した認識がある。統括センター、運輸区の提案は乗務員の業務について非常に関連性があります。やりとりの特徴点を報告します。

2024年ダイヤ改正で、新幹線では北陸新幹線が金沢から敦賀への延伸するほか、東北・山形新幹線に新型のE8系車両を順次導入し所要時間を短縮して利便性を向上させます。在来線では上野東京ライン・湘南新宿ラインの一部列車を15両編成にするほか、武蔵野線の採時駅や表定時分等の見直しを行なうとしています。

大宮統括センター及び宇都宮統括センターを発足し柔軟な働き方の実現を目指すとしています。また2024年3月のダイヤ改正において小金井運転区は廃止し、新たに小山運輸区を発足していきます。

【主なダイヤ改正事項】

1. 新幹線関係

- ①北陸新幹線の金沢～敦賀間を開業する。
- ②東北・山形新幹線にE8系車両を順次投入する。
- ③東北・秋田・上越・北陸新幹線で増発する。
- ④上越新幹線の終電時刻を繰り上げる。

→営業箇所の作業ダイヤについては必要な作業ダイヤの変更を行っていくこととなる。

2. 在来線関係

- ①上野東京ライン・湘南新宿ラインの一部列車を15両編成とする。

→4536Yなどは池袋～赤羽間で10両編成で150%近い乗車率であり混雑緩和を目的に行うこととなる。
1525Eなど始発から15両編成にして車両運用をしている。

- ②武蔵野線の採時駅及び表定時分等を見直す。

→目的は採時駅での早発防止の観点である。採時駅の追加では東松戸駅、北朝霞駅となる。

- ③京浜東北線の留置箇所を見直し、保守間合を拡大する。

→ホームドア工事の関係もあり今までは大宮一1本・南浦和一1本の留置としてきたが、工事が終了したこともあり大宮駅の留置を2本の留置に変更することとなる。その事をもって保守間合も確保する事になる。今回の留置変更によりさいたま運転区のさいたま車掌区泊まりは無くなる。

- ④ご利用状況にあわせた輸送体系に見直す。

3. その他

→快速ラビットの3554Mと3555Mの運転をとりやめる。その結果、列車に乗れないお客さまの流動を含めて3556Mと3557Mなどの列車は各駅停車とすることとした。



**現場はゆとりの無い作業が蔓延している！
職場現実から安全な鉄道輸送を実現しよう！**



「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」の提案を受けました！その②

●示された行路数について

○宇都宮統括センター

運転士・・・日勤 8 (現行8)	泊 18 (現行21)	乗務 [※] 1,524.3 (平日)
車掌・・・日勤 3 (現行11)	泊 9 (現行24)	※▲日勤8 泊まり▲15

○大宮統括センター

運転士・・・日勤 14 (現行19)	泊 25 (現行34)	※▲日勤5 泊まり▲9
車掌・・・日勤 15 (現行22)	泊 25 (現行29)	※▲日勤7 泊まり▲4

○小山運輸区

運転士・・・日勤 10 (現行11)	泊 25 (現行23)	乗務 [※] 1,345.5 (平日)
車掌・・・日勤 7	泊 14	※土休日の欠行路は日勤-2

○さいたま運転区

日勤 25 (現行30)	泊 36 (現行36)	※土休日の欠行路は日勤-1
--------------	-------------	---------------

○さいたま車掌区

日勤 21 (現行41)	泊 32 (現行50)	※▲日勤20 泊まり▲18
		※土休日の欠行路は日勤-10



全職場で
時短は無し
設定は発生時
需要度作成！

●昨年導入した「その他時間」の業務について議論！

組合：各箇所「その他時間」の業務内容が違うと思うが、ダイヤ改正後の業務内容を改めて示して欲しい。
会社：今回の提案で行路内容が決まって以降どういった業務が出来るか検討・準備していく事になる。現在行っている業務をベースに引き続き検討していくこととなる。

組合：昨年は交渉当日に業務内容が示され、結果労使議論が成熟せず、**ダイヤ改正で(その2)を申し入れする事態**となった。**支社でもすでに業務内容を検討する会議が行われていると聞いている。**

会社：今回提案もしているのでこの場でより具体的に議論出来れば良いという認識はある。何が出来るのか、どういった教育が必要なのか、具体的なものが現段階で決まっていない。

組合：今行っている業務をベースというが、例えば小山運輸区の車掌は初めてであり**労働条件も分からず労働組合として議論が出来ない！会社の準備不足である！**

会社：指摘は真摯に受け止める。**ダイヤ改正(その2)を申し入れになった事態もあった。各職場で検討段階に入っているとは聞いているが、この場で伝えられないというのは去年の反省が活かされていない**というところはあるので、状況を掴み次第情報提供していく。

組合：**問題意識は労働条件の変更である！作業安全の考え方も変わる。それが提案時に労働条件の変更を議論出来ない事で、職場で混乱する事態となる。**

会社：労働組合からの指摘は受け止めていく。

大きな組織再編と働き方の変化に対し職場で議論を巻き起こそう！



ŌMIYA NEWS



No.96 2023年12月25日 JR東労組大宮地本

「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」の提案を受けました！その③

●箇所体制について

		2024年3月1日					改正				
		変形等	交代	乗務員		計	変形等	交代	乗務員		計
				日勤	泊				日勤	泊	
大宮統括センター	管理					22	7			29	
	一般					24	33	33	50	140	
大宮営業統括センター	管理	16	5			21					
	一般	14	33			47					
大宮車掌区	管理	5	2			7					
	一般	4		23	29	56					
大宮運転区	管理	5	2			7					
	一般	10		24	34	68					

宇都宮統括センター	管理					20	7			27
	一般					17	26	16	27	86
宇都宮営業統括センター	管理	13	4			17				
	一般	9	25			34				
宇都宮 CTC	管理	1	2			3				
	一般									
宇都宮運輸区	管理	6	2			8				
	一般	10		26	45	81				
小山運輸区	管理					6	2			8
	一般					9		19	39	67
小金井運転区	管理	5	2			7				
	一般	7		13	23	43				

さいたま車掌区	管理	5	2			7	5	2		7
	一般	5		42	50	97	3		22	32
さいたま運転区	管理	5	2			7	5	2		7
	一般	7		31	36	74	7		26	36

※業務の繁閑等に応じて1日あたりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

●休日欠行路および波動について

【大宮統括センター】土休日カット：運転士（日勤）1 車掌（日勤）1 波動：運転士3 車掌1
 【宇都宮統括センター】土休日カット：なし 波動：運転士3 車掌2
 【小山運輸区】土休日カット：車掌（日勤）2 波動：運転士2 車掌0
 【さいたま運転区】土休日カット：（日勤）1 波動：1
 【さいたま車掌区】土休日カット：（日勤）10 波動：1

●宇都宮営業統括センター（宇都宮駅・黒磯駅）の業務体制見直しについて3月1日実施予定を反映

・宇都宮CTCについては 管理：交代1変形1 一般：交代1 を考えている。

安全・健康・ゆとりを担保するために職場議論を展開しよう！



「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」提案を受けました！その④

【大宮統括センター及び宇都宮統括センター】

○基本的な考え方

《大宮支社は統括センターと営業統括センター（乗務員区）が設置されることになるが、違いは何か》

・兼務するかしないか

《CFO、オフィスについて首都圏本部では発展的に解消していくようなことが示されているが大宮支社の考えは》

・企画ユニットと名称を変更していく。

《事前通知はどのようにするのか》

・現在のところ包括的な発令とは考えていない。発令通知書を手交する予定である。

○大宮統括センターについて

・管理者の兼務発令を行い、当務業務を行っている。駅⇒乗務員区3名、乗務員区⇒駅1名。

・乗務職場から駅業務への公募は、一定程度の希望はあったが駅側の体制を鑑みて3名とした。

・企画WGが行っていることとして共通するものは融合していく。例えば制服の発注など。

・人事育成WGが行っている事として委員会を営業と運輸で分けるとは聞いていない。合同でやる場合、共通するものと異なるものを箇所として判断して融合していく。

・システムWGの課題として Teams の発信など情報量が多く、大事な情報が埋もれてしまう。今後どのように整理していくのか。

・オフィスWGとしてエリアの名称を決めてゾーン分けしている。

【休憩・待機エリア】休憩スペースや乗務までの待機場所 【集中エリア】WEB 会議など

【アクティブエリア】ユニット活動やミーティングなど 【駅業務エリア】ホーム監視や放送等

【乗務員エリア】点呼や乗務の準備を行うスペース

【企画・総務エリア】内勤や輸送障害時の中心となる場

・当直業務の融合は可能性を否定するものではない。

○宇都宮統括センターについて

・宇都宮以南のために車掌を一定数配置する。

・運輸区から統括センターに変わることによって融合が進むと考えている。

・管理者の兼務について 営統セ⇒乗務員区 12 月中に 2 名、1月以降5名を予定している。また運輸区と CTC の相互を検討中。運輸区⇒駅ホームや営統セ⇒CTC も今後検討。

・宇都宮運輸区の現在の建屋は残る社員で使用していく。ロッカー室が会議室になるかは検討中。

職場で議論を深めて基本 requirements を練り上げよう！



「2024年3月ダイヤ改正及び大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区の発足について」提案を受けました！その⑤

小山運輸区の発足について

○基本的な考え方

- ・小金井駅に運転士と車掌が一緒になる乗務員職場が車両センター近傍に出来る事にメリットがある。
- ・9月に現場で行った「小金井運輸区(仮称)の目指すべき職場の姿」のベースは変わらない。
- ・運転士・車掌共に事前通知を行っていく事となると考えている。
- ・ダイヤ改正日をまたぐ乗務員のあり方については整理をして荷物の整理も含めて示していきたい。荷物の移動などは運輸区の受け入れる環境も関わってくるが、事前にやれるのであればスムーズにいくとは考えている。

○執務エリアについて

- ・点呼箇所(乗務点呼が出来る場所)は2か所。出退勤点呼システムが入っている箇所となる。
- ・達示エリアについて机等は置かずにボード等に掲出する形でワーキングで検討している。
- ・レターケースについては置かない方向となる。・めくり札については箇所判断となる。
- ・カバン置き場については2段のラックのものを検討している。数については最大60名が使用できるものを想定。男性更衣室にも数段のカバン置き場を検討していて最大190名が使用できるものを想定している。
- ・タブレットの充電箇所に執務エリアに使いやすい場所に検討しているところである。
- ・エレベーターは11人乗りとなる。・トイレは各階に男女共に設置することとなる。
- ・乗務員が使用する座席数34席を考えていて、内8席を食事優先エリアでの使用を考えている。
- ・冷蔵庫は2台を予定している。・レンジは2台を予定している。・IHコンロを1台設置予定。
- ・メインの出入口は高架下の駅側が入口となる。非常口はメインの出入り口と道路側となる。
- ・大浴場はつくらない。シャワー室、シャワー室&浴室がついているものの2パターンで考えている。
- ・ロッカーには氏名は貼らずに番号を付けていく方向で考えている。

○女性設備等について

- ・共通の出入口を入ると扉がありJRとグリーンアテンダントの更衣室が分かれていて、下駄入れは別である。
- ・傘立ては更衣室に置いていく考えである。共用のハンガーラックは女性更衣室には置かない考えである。
- ・更衣室にカバン置き場をつくっていく。
- ・洗面台については3台設置予定である。(男女とも)なお、ドライヤーについては箇所で準備するものである。
- ・小ロッカーについては現在あるが、運輸区になった際には小ロッカーは設置していく考えはないが、容量は同程度のものは設置していく考えである。脚立みたいなものなど工夫は出来ると考えている。
- ・宿泊エリアについては現行と同じように(グリーンアテンダントと)分けて使用していく考えである。

使用する現場の声を反映して働きやすい職場を求めよう！